

## 中学校第2学年 美術科学習指導案

### 1 題材名 「お菓子の佐賀の魅力を発信しよう」

### 2 題材について

#### (1) 題材観

本題材は、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編』の第2・3学年の目標A表現(1)イ(イ)、A表現(2)、B鑑賞(1)ア(イ)、〔共通事項〕に基づいている。生徒自身が関心のある佐賀の地域を選択し、その地域の魅力が伝わるようなお菓子のデザインを考え、紙粘土や樹脂粘土などで立体表現するものである。地域の特徴やお菓子を購入する客層や食べる場面などを想定しながらデザインをすることで、デザインの目的や機能について考えを深めることができる。また、身近な伝達のデザインなどを鑑賞し、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える学習活動を通して、見方や感じ方を深めることができる題材である。

#### (2) 生徒観

題材の前に実施したアンケートでは、「美術の学習は、生活を美しく豊かにすることに役立つと思いますか。」という質問では、83.0%の生徒が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。しかし、「美術の学習をすれば、普段の生活や社会に出て役立つと思いますか」という質問に、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒は51.2%である。その理由として、「絵を描くときに役立つ」、「人の作品を見るときに大切だと思う」など、絵画による表現や鑑賞に関わる回答をしている。また、「美術の学習の中で、どの分野が苦手ですか」という質問では、「絵を描くことが苦手」、「色付けがうまくいかない」といった創造的に表す技能を働かせることに関する苦手さや、「想像するのが苦手」、「構成などを考えるのが難しい」といった発想や構想に関する苦手さがある。普段の表現の学習の様子からも、教師や友人に尋ねた色や表現方法をそのまま活用する生徒が見られ、発想や構想したことを基に表現することに課題があると考えられる。

第1学年では、色彩の学習を基に絵文字をデザインする平面作品の制作、身近なものを見立てる立体作品の制作など、様々な表現の学習に取り組んでいる。この学習を基に、社会における美術の役割に気付き見方や感じ方を深めていくこと、既習の学習内容を活用して、発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能を身に付けることができるようにする。

#### (3) 指導観

鑑賞の段階では、生徒にとって身近なお菓子の鑑賞を通して、身の回りの目的や機能を考えたデザインについて興味をもつことができるようにするために、地域の魅力が伝わるお菓子について鑑賞する。発想や構想の段階では、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面を考えることで、それらのイメージから主題を生み出し、選択した地域に合うお菓子のテーマと作品のデザインを考えることができるようにする。途中、グループでアイデアスケッチを相互に鑑賞し、アイデアのよい点やアドバイスしたい点について話し合う活動を設定することで、よりよいアイデアを検討することができるようにする。また、様々な材料や用具を確認したり試したりすることができる材料・用具コーナーを美術室の後方に設置し、多様な材料や用具に触れることで、生徒が表現のイメージを広げることができるようにする。制作の段階では、発想や構想の段階に引き続き材料・用具コーナーを設置することで、制作の見通しをもって創意工夫しながら表現できるようにする。また、ペアやグループで作品を相互に鑑賞し、価値意識をもって批評し合う学習の充実を図ることで、思考を整理し、表現の幅を広げていくことができるようにする。鑑賞の段階では、生徒が販売者と購入者に分かれて、販売者として魅力を伝えるための表現の工夫について説明したり、購入者として説明を受けたあとに自分が購入したい作品を考えたりしながら鑑賞する活動を設定する。その際、作品から感じたことや考えたことを説明し、表現の意図と創造的な工夫などについて考える学習活動を通して、伝達のデザインについての見方や感じ方を深めることができるようにする。

### 3 題材の目標

- (1) 「知識及び技能」に関する題材の目標
  - ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。（〔共通事項〕）
  - ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。（「A表現(2)」）
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標
  - ・伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や伝達の効果と美しさとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。（「A表現(1)イ(イ)」）
  - ・伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深める。（B鑑賞(1)ア(イ)）
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標
  - ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達の効果や美しさなどとの調和を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとする。
  - ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達のデザインの目的や機能の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p><b>技</b> 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p><b>発</b> 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や伝達の効果と美しさとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑</b> 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>態表</b> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達の効果や美しさなどとの調和を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>態鑑</b> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達のデザインの目的や機能の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 題材の指導と評価の計画（全10時間）

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
<p>1. 鑑賞（1時間）</p> <p>●地域の魅力が伝わるお菓子を鑑賞し、伝達のデザインについて見方や感じ方を深めるとともに、形や色彩などの効果や、伝達の効果と美しさとの調和など全体のイメージで捉えることを理解する。</p> <p>・地域の魅力が伝わるお菓子の鑑賞を行い、その特徴について形や色彩などの性質の視点から感じたことや考えたことを交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</div> <p>▼</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">鑑</div> <p>▼</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">態鑑</div> <p>▼</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>知</b> 造形的な視点に着目して、伝達のデザインにおける統一感などについて理解しているかどうかを見取る。できていない生徒に対して色や形などの効果を具体的に示しながら指導を行う。【発言の内容、ワークシート】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>鑑</b> 表現の意図と創造的な工夫などについて考えているかを見取り、見方や感じ方が深まらない生徒に対して、〔共通事項〕の視点を示して作品を鑑賞することができるようにするなどの指導を行う。【発言の内容、ワークシート】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>態鑑</b> 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取ろうとしたり、表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしていたりして、見方や感じ方を深めようとしているかを見取る。できていない生徒に対して、身近な伝達のデザインを紹介したり、見る人の視点に立って考えるようにしたりするなどの指導を行う。【活動の様子、ワークシート】</p> </div>
<p>2. 発想や構想（3時間）</p> <p>●主題を生み出す。 （本時1/3）</p> <p>・自分が選んだ地域の資料を集め、それを基に地域の魅力や特色を伝えるための内容を整理する。</p> <p>・鑑賞の学習で学んだことを生かしながら、お菓子を購入する客層や食べる場面などのイメージから主題を生み出す。</p> <p>●主題を基に構想を練る。</p> <p>・生み出した主題やアイデアスケッチを基に、形や色彩が感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさとの調和を総合的に考え、制作企画書を作成し表現の構想を練る。</p> <p>・主題を基に、使用する材料や制作方法、手順を検討する。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発</div> <p>▼</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">態表</div> <p>▼</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>発</b> 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出すことができているかどうかを見取る。主題を生み出すことができている生徒に対して、地域の特徴について考えるようにしたり、お菓子を購入する客層やお菓子を食べる場面について確認したりすることで、主題について整理することができるように指導を行う。【アイデアスケッチ、活動の様子】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>態表</b> 主題を生み出そうとする態度を見取る。主体的に活動できていない生徒に対して、鑑賞の学習での内容の振り返りをしたり、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面など具体的な内容について考えるようにしたりするなどの指導を行う。【アイデアスケッチ、活動の様子】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>発</b> 主題を基に形や色彩が感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているかどうかを見取り指導する。構想を練ることができていない生徒に対しては、再度主題を確認したり、お菓子を購入する客層やお菓子を食べる場面、〔共通事項〕との関連を考えるようにしたりするなどの指導を行う。【アイデアスケッチ、制作企画書、活動の様子】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>態表</b> 主体的に構想を練ろうとしているかを見取る。構想がまとまらない生徒に対しては、</p> </div>

		<p style="text-align: center;">発</p>	<p style="text-align: center;">態表</p>	<p>伝達の効果や美しさとの調和について、形や色彩、材料などの視点から再度考えるように指導を行う。【制作企画書、活動の様子】</p> <p><b>発</b> 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているかどうかを暫定的に評価する。【アイデアスケッチ、制作企画書】</p> <p><b>態表</b> 生徒が知識を活用しながら、発想や構想の学習活動に取り組もうとする態度を評価する。【アイデアスケッチ、制作企画書、活動の様子】</p>
<p><b>3. 制作（5時間）</b></p> <p>●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩が感情にもたらす効果を制作に生かす。</li> <li>主題を表すために、材料の特性を生かしながら制作する。</li> </ul> <p>・制作の途中で鑑賞を行い、友人の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にするなどして、作品を完成させる。</p>	<p style="text-align: center;">知</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">技</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">知・技</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">知・技</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">知・技</p>	<p style="text-align: center;">発</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">態表</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">態表</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">態表</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">態表</p>	<p><b>知</b> 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り、できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p><b>技</b> 形や色彩などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら表しているかどうかを見取る。できていない生徒には、発想や構想を確認したり、ほかの生徒の作品を紹介するなどして表現の表し方の工夫について考えるようにしたりすることができるよう指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p><b>発</b> この段階で構想などがまとまらない生徒を中心に見取り、指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p><b>態表</b> 主体的に表現方法を創意工夫したり、見通しをもって表そうとしたりしている態度を見取る。できていない生徒に対して、表現方法による印象の違いに気付かせながら、表現の工夫についての意欲を高めるように指導を行う。【制作途中の作品、活動の様子】</p> <p><b>知・技</b> 作品から、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら表しているかどうかを見取るとともに、形や色彩などが感情にもたらす効果や全体のイメージで捉えることを理解していることを併せて見取り、<b>知と技を</b>知・技として一体的に評価する。【作品、アイデアスケッチ、制作企画書】</p> <p><b>態表</b> 主体的に制作に取り組み、形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解しようとし、見通しをもち意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。【作品、活動の様子】</p>	
<p><b>4. 鑑賞（1時間）</b></p> <p>●生徒作品を相互に鑑賞し、伝達のデザインにおける見方や感じ方を深める。</p>	<p style="text-align: center;">知</p> <p style="text-align: center;">▼</p>	<p style="text-align: center;">鑑</p> <p style="text-align: center;">▼</p>	<p style="text-align: center;">態鑑</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p><b>知</b> 形や色彩の効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取る。できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。【発言の内容、ワークシート】</p>	

<p>・完成した作品を相互に鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合い、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。</p>		<p><b>鑑</b> <b>態鑑</b> 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めているかどうかと、取り組む態度とをそれぞれ見取る。できていない生徒に対して、主題から作品を見つめたり、作者の心情について考えるようにしたりするなどの指導を行う。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p> <p><b>態鑑</b> 作品を鑑賞し、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めているかどうかを評価する。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p>
<p>〈授業外：題材が終了後〉</p>	<p style="text-align: center;">知・技</p> <p style="text-align: center;">鑑</p> <p style="text-align: center;">発</p>	<p><b>知・技</b> 完成作品やワークシートなどから<b>知・技</b>の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、アイデアスケッチ、制作企画書、ワークシート】</p> <p><b>鑑</b> 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているかをワークシートで見取り評価する。【ワークシート】</p> <p><b>発</b> 主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と併せて再度見取り必要に応じて修正する。【完成作品、アイデアスケッチ、制作企画書、ワークシート】</p>

※「指導と評価の計画」における記号等の表記は、以下の通りである。

- は、授業の中で評価規準を通して、生徒の学習の実現状況を見取り、生徒の学習の改善や、教師の指導の改善につなげるために用いる「題材の評価規準」を示す。
- は、題材の観点別学習状況の評価の総括に用いる「題材の評価規準」（授業内での評価を再確認するための評価も含む）を示す。ここでの評価が最終的に評定の総括にも用いられることになる。
- は、授業の中で評価規準を通して、生徒の学習の実現状況を見取り、生徒の学習の改善や、教師の指導の改善につなげる留意点等について示している。
- **ゴシック体**は、題材の観点別学習状況の評価の総括に用いる評価についての評価方法や留意点等について示している。
- **【 】**は、評価の方法や生徒の学習の実現状況を見取るための資料を指す。

## 6 本時の目標

- ① 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面などのイメージなどから主題を生み出す。
- ② 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面などのイメージなどから主題を生み出す活動に主体的に取り組もうとする。

## 7 本時の展開【2/12】

	学習活動	指導上の留意点	評価規準【評価方法】
導入	1 本時のめあてを知り、学習の見通しをもつ。	・本時のめあてを提示し、生徒が学習の見通しをもつことができるようにする。	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作例や材料・用具を紹介し、生徒が制作するお菓子の主題をつかむことができるようにする。</li> </ul>									
<p>めあて：様々な表現方法を基に、地域の魅力や特色が伝わるお菓子のアイデアを考えよう。</p>											
<p><b>展開</b></p>	<p>2 佐賀の地域や町を1つ選択し、アイデアスケッチを描く。</p> <p>3 友人のアイデアスケッチを鑑賞する。</p> <p>4 自分のアイデアスケッチを見直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチを描く上でのポイントを2つ提示する。             <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 ① 地域の魅力や特色の伝達                  ② 色、形、質感などの造形の要素             </div> </li> <li>・前時のワークシートを振り返り、材料・用具を参考にしながら、主題に沿った形や色彩などを意識して描くように伝える。</li> <li>・発想を広げたり深めたりするために、後方に材料・用具コーナーを設置する。また、班ごとに共通の材料・用具を配付する。             <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 ○材料・用具コーナーに置くもの  <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">材料</td> <td>ビーズ</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">用具</td> <td>ボンド、アルミホイル、網、ブラシ、つまようじ</td> </tr> </table>                 ○共通の材料・用具  <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">材料</td> <td>樹脂粘土、紙粘土</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">用具</td> <td>粘土べら</td> </tr> </table> </div> </li> <li>・アイデアを考えることに難しさを感じている生徒には、身近なモチーフなどに関連付け、再度主題について考えることができるようにする。また、様々な材料や道具を基に、イメージに近付いているかを確認しながらアイデアスケッチを描くように声掛けをする。</li> <li>・アイデアをよりよくするために、2つのポイントを基にグループ内で相互にアイデアスケッチを鑑賞し、アイデアのよい点やアドバイスしたい点について話し合うように伝える。</li> <li>・2つのポイントを基に具体的にアドバイスをしよう伝える。友人からのアドバイスは、アイデアスケッチの横の記入欄に記入するように伝える。</li> <li>・鑑賞の活動に難しさを感じているグループには、2つのポイントを基に生徒と対話をして考えを引き出す支援を行う。</li> <li>・友人からのアドバイスや2つのポイントを基に、アイデアスケッチを見直すように伝える。</li> </ul>	材料	ビーズ	用具	ボンド、アルミホイル、網、ブラシ、つまようじ	材料	樹脂粘土、紙粘土	用具	粘土べら	<p><b>発</b> 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出している。【アイデアスケッチ、活動の様子】</p> <p><b>態表</b> 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出そうとしている。【アイデアスケッチ、活動の様子】</p>
材料	ビーズ										
用具	ボンド、アルミホイル、網、ブラシ、つまようじ										
材料	樹脂粘土、紙粘土										
用具	粘土べら										
<p><b>終末</b></p>	<p>5 本時の活動を振り返り、自己評価を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動の振り返りを行うことを伝える。本時で達成できなかったところは次回の学習に生かすように伝える。</li> <li>・次時は友人からのアドバイスを基にアイデアスケッチを進めていくことを伝える。</li> <li>・今後はアイデアスケッチを基に制作企画書を作成し、構想を固めることを伝える。</li> </ul>									

## 8 本時の評価規準と判定基準

	本時の評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
発	<p>○伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出している。</p> <p>【アイデアスケッチ、活動の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおむね満足できる」状況【B】 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、アイデアスケッチに表している。</li> <li>・「十分満足できる」状況【A】 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから独創的な視点から創意工夫して主題を生み出し、アイデアスケッチに表している。</li> <li>・「努力を要する」状況【C】と判断される生徒への指導の手立て等 地域の特徴について考えるよう促したり、お菓子を購入する客層やお菓子を食べる場面について確認したりすることで、主題について整理することができるように指導を行う。</li> </ul>
態表	<p>○伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出そうとしている。</p> <p>【アイデアスケッチ、活動の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおむね満足できる」状況【B】 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出そうとしている。</li> <li>・「十分満足できる」状況【A】 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなど独創的な視点から創意工夫して主題を生み出そうとしている。</li> <li>・「努力を要する」状況【C】と判断される生徒への指導の手立て等 鑑賞の学習での内容の振り返りをしたり、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面など具体的な内容について考えるようにしたりするなどの指導を行う。</li> </ul>